

埼玉県 GIS 普及推進研究会例会

「オープンデータ時代の官民動向と先進事例紹介」

主催：埼玉県 GIS 普及推進研究会

会長 後藤 真太郎（立正大学）

データを二次利用しやすい形でオープン化し、そのデータを活用してサービスやビジネスに展開する「オープンデータ」の取組が進められ始めました。

今回は、地理情報システム学会自治体分科会代表の浅野和仁氏（富田林市上下水道部理事）に近年の自治体分科会のオープンデータを使った地域課題対応へのワークショップの取り組みなどをご講演いただき、また、当研究会の個人会員である井上修氏（オートデスク株式会社技術営業本部ソリューションスペシャリスト）に建設事業のライフサイクル全体におけるデータの流通・共有の基盤となる BIM・CIM の先進事例等をご講演いただきます。

2 つのご講演を受けて、埼玉県下の自治体及び当研究会会員が今後、どのようにオープンデータ化に取り組み活用していくべきかを議論したいと思います。

つきましては、お誘い合わせの上、多くの会員各位にご出席いただきたく、宜しくお願い致します。

日時： 2016 年 1 月 26 日(火) 14:00～17:00 （開場・受付開始 13:30～）

場所： 大宮ソニックシティ 901 号室 （最寄り駅は JR 大宮駅）

<http://www.sonic-city.or.jp/>

<< プログラム >>

13:30- 受付

14:00-14:10 開会・挨拶(後藤先生)

14:10-15:10

「統合型 GIS から課題対応 GIS へ～自治体 GIS の転換期」(仮題)

浅野和仁氏 (GIS 学会自治体分科会代表：富田林市上下水道部理事)

阪神淡路大震災の復興支援で有効性を立証した施設管理 GIS などの個別型 GIS と、なんでもできると吹聴されて結局何もできなかった全庁型 GIS を振り返り、近年の地理情報システム学会自治体分科会のオープンデータを使った地域課題対応へのワークショップの取り組みなどを紹介します。

15:10-16:10

「BIM/CIM イノベーションによるこれからの IT 建設事業」(仮題)

井上修氏 (オートデスク株式会社技術営業本部)

国土交通省が施策として推し進める BIM・CIM。3次元 CAD はもちろん、レーザーや写真測量情報化施工やセンサー技術、GIS など各種要素技術を取り込みながら建設事業のライフサイクル全体の変革を目指しています。来年度末のガイドライン制定に向け、測量・建設コンサル・ゼネコン・ソフトウェアベンダーそして音頭をとる国土交通省がまさに総力を挙げ一丸となって検討が急ピッチで進められています。BIM・CIM の最近の動向と国内外での先進事例などを紹介しながらソフトウェアを使った具体的な対応などをご紹介します。

16:10-16:20 休憩

16:20-16:50 質疑応答・ディスカッション

16:50-17:00 閉会・挨拶(後藤先生)

懇親会 17:30~

別会場にて、懇親会を開催いたします(会費別途)。

例会参加費：

当研究会会員及び研究会会員企業に所属する社員の方、自治体関係者は無料です。

上記以外は資料代として 1000 円徴収させていただきます。

お申込み：下記宛にお願いいたします。

埼玉県 GIS 普及推進研究会

事務局長 落合 司郎

e-mail : sochiai@d08.itscom.net